

令和4年度

葛飾区予算案概要

【当初予算案主要事業概要】

抜粋



総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～

令和4年2月



※子ども・子育て支援事業に関連するものを抜粋しております。

3 SDGs 17のゴール

<p>1 貧困</p> <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p> <p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓</p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p> <p>2 飢餓をゼロに</p> 
<p>3 保健</p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 教育</p> <p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p> 
<p>5 ジェンダー</p> <p>ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女子の能力強化を行う。</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 水・衛生</p> <p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p>7 エネルギー</p> <p>全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 経済成長と雇用</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>9 インフラ、産業化、イノベーション</p> <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 不平等</p> <p>各国内及び各国間の不平等を是正する。</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 

<h3>11 持続可能な都市</h3> <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<h3>12 持続可能な生産と消費</h3> <p>持続可能な生産消費形態を確保する。</p>  <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<h3>13 気候変動</h3> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<h3>14 海洋資源</h3> <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p>
<h3>15 陸上資源</h3> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>  <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<h3>16 平和</h3> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>  <p>16 平和と公正をすべての人に</p>
<h3>17 実施手段</h3> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。</p>  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	

2 ㊦ 妊婦健康診査事業【拡大】（福祉費）

子ども家庭支援課 293百万円

妊婦と胎児の健康管理の充実及び妊娠にかかる経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査の費用の一部を負担することにより、安全・安心な出産が迎えられるようになります。

多胎児を妊娠した妊婦は、単胎妊娠の場合よりも頻回の妊婦健康診査受診が推奨されており、受診に伴う経済的負担が大きくなることから、4年度は、通常行われている14回分の健診費用助成に加え、追加分として5回を限度に費用を助成します。

3 ㊦ 3歳児健康診査事業【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 36百万円

3歳児健康診査において、現在実施している絵視標を使った視力検査に加え、フォトスクリーナーによる「屈折検査」を導入し、子どもの視覚異常を早期に発見し適切な治療につなげます。

2 子育て家庭への支援

～子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします～



1 ㊦ 子ども未来プラザの整備【計画】【新規】（福祉費）

子育て施設整備担当課・保育課 581百万円

子育て支援の拠点となる子ども未来プラザを整備し、妊娠期から成人するまでの全ての子どもとその家庭への支援に取り組むとともに、配慮を必要とする子どもや保護者への支援を充実させます。また、区民に身近な場所で、気軽に相談したり仲間づく

りができる環境を整えるとともに、地域団体や行政機関等とのネットワークを構築することで、地域の子育て力向上に寄与します。

(1) (仮称) 子ども未来プラザ西新小岩

上平井保育園

所在地 西新小岩四丁目33番(子ども未来プラザ予定地)

定員 146人(現在の定員156人)

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・
(予定) 障害児保育

開設予定 令和4年7月(公設公営)

(2) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所在地 堀切四丁目60番(子ども未来プラザ予定地)

小菅二丁目19番1号(仮園舎)

定員 未定(現在の定員106人)

保育内容 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育
(予定)

開設予定 未定(公設公営)

(3) (仮称) 子ども未来プラザ白鳥

白鳥保育園

所在地 白鳥三丁目32番(子ども未来プラザ予定地)

西亀有一丁目18番6号(仮園舎)

定員 未定(現在の定員120人)

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・
(予定) 障害児保育

開設予定 令和7年度後半（公設公営）

(4) (仮称) 子ども未来プラザ東四つ木

渋江保育園

所在地 東四つ木二丁目15番（子ども未来プラザ予定地）

東立石三丁目3番15号（仮園舎）

定員 未定（現在の定員122人）

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・

(予定) 障害児保育

開設予定 令和5年度後半（公設公営）

2 〔重〕通年型預かり保育の実施【計画】【拡大】（福祉費）

子育て支援課 245百万円

保育を必要とする児童も幼稚園を利用することができるよう、私立幼稚園・認定こども園で実施している預かり保育を拡充します。私立幼稚園の保育機能を充実させることで、小規模保育事業所・家庭的保育事業所の卒園児の受入先となるなど、子育て世帯の幼児教育・保育の選択肢の幅を広げます。

実施予定園 19園

3 〔重〕幼児教育・保育に係る助成【拡大】（福祉費）

子育て支援課 1,547百万円

子育て世帯の幼児教育・保育に係る経費の負担を軽減し、各家庭の希望に合ったサービスを選択できるようにするため、私立幼稚園・認定こども園に係る、入園料補助対象を全私立幼稚園・認定こども園に拡大することに加え、保育料助成の増額をします。

さらに、保育士等の宿舍借上費用助成と住宅手当助成の対象を幼稚園教諭にも拡大します。また、教育・保育施設の事務職員配置費用助成の対象を私立幼稚園にも拡大します。区内の幼児教育・保育施設への支援を充実させ、各施設が実施する幼児教育・保育の質を向上させることで、葛飾区の子どもの豊かな育ちと小学校進学へのスムーズな連携につなげていきます。

(1) 保護者負担軽減

保育料助成	対象者	4,508人(見込み)
	限度額	7,300円/月(区独自上乗せ分)
入園料助成	実施予定園	30園(うち拡大分13園)
	限度額	80,000円(生活保護・住民税非課税世帯は 100,000円)

(2) 幼児教育・保育施設の運営支援

事務職員配置費助成

実施予定園 30園(うち拡大分24園)

宿舍借上費用助成・住宅手当助成

実施予定園 30園(うち拡大分24園)

3 仕事と子育ての両立支援

～仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます～



1 **園** 保育所等の整備【計画】(福祉費)

子育て施設整備担当課 829百万円

保育の受け皿を確保し、年間を通して利用しやすく、安心して子どもを預けること

ができるよう、幼児教育と保育の多様なニーズに対応していきます。人口動態及び保育需要を踏まえながら、既存施設を活用するなど様々な工夫を重ね、整備を計画する民間事業者に対して施設整備費の一部を助成します。

4年度は、(仮称)西亀有三丁目保育園、(仮称)水元三丁目認定こども園、(仮称)四つ木一丁目認定こども園の整備及び、認定こども園葛飾みどりの建替えを実施します。

(1) (仮称)西亀有三丁目保育園 (現:区立西亀有保育園)

所在地 西亀有三丁目31番
西亀有一丁目18番6号(仮園舎)

定員 132人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
(予定)産休明け保育・子育てひろば・一時保育

施設規模 木造 2階建 延床面積 約904㎡

開設予定 令和5年4月(民設民営)

運営者 HITOWAキッズライフ株式会社

(2) (仮称)水元三丁目認定こども園 (現:そあ保育園)

所在地 水元三丁目13番20号

定員 保育定員 94人(現在の定員90人)
教育定員 15人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
(予定)産休明け保育・子育てひろば・一時保育

施設規模 新築棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 約391㎡
既存棟 鉄骨造 2階建 延床面積 約685㎡

開設予定 令和5年4月

運 営 者 社会福祉法人 砂原母の会

(3) (仮称) 四つ木一丁目認定こども園 (現: 明昭幼稚園)

所 在 地 四つ木一丁目 4 1 番 1 号

定 員 保育定員 30人

教育定員 135人 (現在の定員150人)

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育・認定こども園の子育て支援事業

施設規模 重量鉄骨造 3階建 延床面積 約1,375㎡

開設予定 令和5年4月

運 営 者 学校法人 関口学園

(4) 認定こども園葛飾みどり (建替え)

所 在 地 鎌倉一丁目 2 1 番 9 号

定 員 保育定員 76人

教育定員 60人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育・子育てひろば

施設規模 新築棟 鉄筋コンクリート造 3階建

延床面積 約1,148㎡

既存棟 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階建

延床面積 約481㎡

開設予定 令和6年4月

運 営 者 学校法人 広和学園

2 園 保育人材の確保【計画】（福祉費）

子育て支援課 50百万円

保育人材の確保と定着のため、就職支援コーディネーターによる相談支援に加え、大手保育人材確保支援事業者のノウハウを活用し、各種取組を一貫して行うことで、より効率的な保育人材確保支援を実施します。また、奨学金を返済している保育士への支援を実施し、区内で働くインセンティブにつなげます。

（1）保育士求人サイトによる情報発信・就職フェア等の実施

大手保育人材確保支援事業者の運営する保育士求人サイトに葛飾区専用ページを開設し、全国に広く情報発信するとともに、就職フェアや潜在保育士等に向けた各種取組を実施します。

（2）保育士募集パンフレットの作成

区内保育施設への就職希望者や保育士養成校の学生、さらには地方からの就職希望者に対して、葛飾区で保育士として働く魅力を発信します。

（3）保育士奨学金返済支援事業

奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内認可保育所等で勤務する保育士を対象として、奨学金の返済に要した費用を限度額の範囲内で助成します。

対象者 200人（見込み）

限度額 20,000円／月

4 放課後支援

～子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごせるようにします～



1 学校施設を活用した放課後子ども支援事業【計画】(教育費)

放課後支援課 133百万円

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内を中心に整備します。

4年度は、西小菅小学校、白鳥小学校内に学童保育クラブを整備していきます。

5 子ども・若者支援

～子どもの権利・利益を守り、若者の社会的な自立を支援します～



1 児童相談体制の強化【計画】(福祉費)

児童相談所設置準備室 565百万円

複雑化・深刻化する児童虐待や養育困難などの子どもと家庭の相談に対して、子ども総合センターが中核となり関係機関とのネットワークをさらに深化させ、適切かつ迅速に、子どもや保護者一人一人の状況に合わせて支援できる体制を構築します。

また、令和5年10月に児童相談所・一時保護所を開設し、区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所・一時保護所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を構築します。

スケジュール

令和3年度 設計・着工

令和4年度 本体工事

令和5年度 竣工（6月）、開設予定（10月）

2 ㊦かつしか子ども応援事業【計画】（福祉費）

子ども応援課 30百万円

家庭の経済状況や養育環境など様々な事情を有する子どもが、家庭や学校以外で安心して過ごすことができる場を提供します。

また、保護者の子育ての悩みや不安に応じる養育支援や、学習等の意欲を喚起する支援を行うとともに、高校生世代に対する中途退学未然防止のための支援や中学卒業後進路未決定者・高校中退者の学び直し、就学支援などを行います。

3 ㊦若者支援体制の整備【計画】（福祉費）

子ども応援課 13百万円

長期にわたり就学・就労等の社会参加ができずにひきこもり状態等にある若者や、人間関係・仕事・孤独・将来への不安などの悩みを持つ若者を支援するため、相談窓口において、本人やその家族等からの相談を受け、関係機関と連携して適切な支援を行います。

4 ㊦子ども・若者活動団体支援【計画】【拡大】（福祉費）（一部再掲）

子ども応援課 19百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する子ども・若者（おおむね39歳まで）を支援する地域活動団体の活動を支援するとともに、区と地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の自立や健やかな育成を図ります。

4年度は、かつしか子ども食堂マップに対する助成及び会食形式の子ども食堂で実

施するイベントに対する助成を追加します。

※P-107 「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用の一部再掲

8 学校教育

1 学力・体力の向上

～学力・体力の向上を図り、子どもたちの生きる力を育みます～



1 総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～【計画】【新規】(教育費)

指導室 93百万円

ICTの活用による個別最適化した子どもの学びや、PDCAサイクルに基づいた教員の授業改善の取組を総合的に推進します。また、ICTを活用した教員の指導力向上や子ども一人一人に応じた学力と情報活用能力の向上のための取組を進めます。

さらに、小学校の学習指導補助員を活用した取組、中学校における全校共通の家庭学習の取組、子ども1人1台のタブレット端末を活用した自学自習等の取組を進めていきます。

2 教育情報化推進事業【計画】(教育費)

教育情報担当課 1,774百万円

全ての子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができる学校教育を実現するとともに、災害や感染症の発生等による緊急時においても、学びを保障するため、学校におけるICT環境の整備や授業及び校務におけるICTの活用等、教育の情報化の推進を図ります。

4年度は、教育委員会事務局内に教育情報アドバイザーを配置し、学校のICTの

活用を推進するため、学校への指導・助言や校内体制の強化等に取り組み、全校で共通した教育情報化を進めます。また、5年度にかつしか教育情報化推進プランの計画期間が終了するため、6年度を始期とする（仮称）第2次かつしか教育情報化推進プランの策定に向けた準備を進めていきます。

3 〇〇体力向上のための取組【計画】（教育費）

指導室 4. 2百万円

子どもの体力の一層の向上のため、「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、体育の授業を充実させることで、運動好きの子どもの育成と体力の向上を図ります。さらに、小学校においては外部指導員を活用し、運動の意欲を高める取組を実施します。

4 〇〇かつしかグローバル人材育成事業【拡大】（教育費）

指導室 129百万円

社会のグローバル化によって、語学力やコミュニケーション能力のある人材を育成することが、学校教育においてより一層求められています。「英語によるコミュニケーション能力」の育成を計画的に行うことによって、これからのグローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成します。

（1）夏季休業期間中の英語宿泊体験活動（イングリッシュキャンプ）の実施

福島県ブリティッシュヒルズにおいて、中学1・2年生100人を対象とした英語だけで生活する体験活動を行います。ロールプレイなどを取り入れている施設独自の体験プログラムにより、普段の授業では体験できない時間を過ごし、コミュニケーション能力の向上を図ります。

（2）葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施

小学校においてALTを配置した外国語科及び外国語活動の授業公開を行います。

(3) 中学生英語検定料助成

中学2・3年生を対象に1回分の英語検定料を助成します。

(4) 地域英語教材の活用

区独自の小・中学生向け地域英語教材を活用した授業を実施します。

(5) 小学生英語体験プログラムの実施（新規）

小学校及び保田しおさい学校の5・6年生を対象に、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を活用した英語体験プログラムを実施します。この体験を通し、5年生では英語への興味・関心を高め、6年生では英語の表現力を伸ばします。

(6) 中学生海外交流の実施（新規）

中学1年生を対象に年1回、タブレット端末や大型提示装置等を活用してオンラインにより実際に現地とつながる体験交流を実施します。

5 **■**屋内温水プールを活用した水泳指導の実施【新規】（教育費）

学校施設担当課 91百万円

近年、雨天や低温に加え、熱中症予防対策の必要性の高まりなどにより計画的な水泳指導の実施が難しくなっています。そのため、区総合スポーツセンターや民間事業者の屋内温水プールを活用した計画的な水泳指導の実施体制へ移行していくとともに、教員の全体的な管理のもと、複数のインストラクターも加わり、水泳指導を充実させていきます。

4年度は、試行を含めて12校が学校外の屋内温水プールを活用して水泳指導を実施します。

2 一人一人を大切にせる教育の推進

～一人一人を大切にせる教育を推進し、全ての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるようにします～



1 発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実

【計画】【拡大】（教育費）

学務課・学校教育支援担当課 99百万円

発達上の課題がある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全小・中学校で実施します。

4年度は、「自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）」について、清和小学校及び立石中学校を加えて、小学校2校、中学校2校で実施するほか、小学校の特別支援教室におけるタブレット端末を活用した多層指導モデル（デジタル版M I M）の実施や発達障害の可能性のある子どもとの関わり方に困っている保護者向けにペアレントトレーニングを試行的に実施します。

2 日本語指導の充実【計画】（教育費）

学務課・学校教育支援担当課 37百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を委託により運営します。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。

さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。

3 不登校対策プロジェクト【計画】(教育費)

学校施設担当課・学務課・学校教育支援担当課 54百万円

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石（適応指導教室）」を運営するとともに、登校はできるものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内適応教室」を、4年度は新たに新宿中学校と大道中学校に開設します。さらに、5年度に向け、2校の開設準備を行います。

4 いじめ防止対策プロジェクト【計画】【新規】(教育費)

学校教育支援担当課 5百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、早期に組織的な対応を行います。

また、学校の適切な初動対応のため、引き続き学校現場の相談を受け、問題解決を図るためのスクールロイヤーを配置します。

3 教育環境の整備

～いきいきと学校生活を送れるよう、教育環境を整えます～



1 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設計画担当課・学校施設担当課・学務課 7,868百万円

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

また、学校は地域の核となる公共施設であり、災害発生時には地域の避難所としての機能も併せ持っていることから、改築に当たってはそれらの機能の強化に向け、地域の方々とともに協議しながら整備していきます。

4年度は引き続き改築・改修を進めます。

(1) 東金町小学校

所在地 東金町一丁目33番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 約8,407㎡

実施内容 外構整備工事

竣工予定 令和4年8月

(2) 西小菅小学校

所在地 小菅一丁目25番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上3階建

延床面積 改築棟 約3,528㎡

改修棟 約2,026㎡

実施内容 新校舎建設及び改修工事、既存体育館解体工事、

外構整備工事

竣工予定 令和5年9月

(3) 高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校

所在地 高砂三丁目30番1号(高砂小学校)

高砂三丁目32番1号(高砂中学校)

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 約13,967㎡(既存施設の改修部分含む。)

実施内容 新校舎建設工事、体育館内装改修工事、

既存校舎解体工事

竣工予定 令和6年3月

(4) 水元小学校

所在地 水元四丁目21番1号

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和8年4月

(5) 道上小学校

所在地 亀有四丁目35番1号

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和8年8月

(6) よつぎ小学校

所在地 四つ木四丁目8番1号

施設計画 四ツ木中学校との一体整備を検討中

実施内容 基本設計

(7) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号

施設計画 保育園との合築

実施内容 基本・実施設計

(8) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号

実施内容 基本設計

(9) 常盤中学校

所在地 金町二丁目11番1号

実施内容 基本設計

2 学校施設のバリアフリー化推進事業【拡大】(教育費)

学校施設担当課 162百万円

誰もが安心して学び、育つことができる教育環境の整備を推進していくため、学校施設におけるバリアフリー化の取組を進めます。

4年度は、小学校9校・中学校4校に備品のスロープを購入するほか、小学校2校に車椅子使用者用トイレを設置します。

3 学校給食用食材の購入【拡大】(教育費)

学務課 196百万円

令和3年2月に文部科学省が「学校給食実施基準」を一部改正し、学校給食における児童・生徒が摂取すべき栄養量が変更されました。また、平成31年1月より学校給食用食材購入費の公費補助を増額して以降、野菜類をはじめ、乳製品や油脂などの食材価格が高騰しています。

こうした中、適切な栄養量の確保や食材価格の高騰に伴う学校給食用食材購入費の不足額について、現下の社会経済状況を踏まえ、保護者の負担とせず、公費補助を増

額します。

9 生涯学習

1 区民学習

～多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援します～



1 学びの機会の充実【計画】【新規】(教育費)

生涯学習課 9百万円

あらゆる世代の区民が充実した人生を生きるため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を拡充します。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、オンラインによる講座の開催など、ICTを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

10 スポーツ

1 スポーツ活動の推進

～区民誰もが多様なスポーツに親しみ、健やかに暮らせる環境をつくります～



1 高齢者の健康づくりの推進【計画】(教育費)

生涯スポーツ課 14百万円

高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツに取り組める環境整備として、区民が

定期的に自身の体力状況を把握できるように、年2回の体力テストを実施するとともに、区や地域のイベントに出向き、出前形式でも実施していきます。

また、本区の高齢者推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツを引き続き普及していくほか、ウォーキングやランニングによる健康づくりを推進します。

さらに、高齢者スポーツを支援するための葛飾区公認スポーツ指導員やスポーツボランティアの育成を図り、活動する場を設けます。

- | | | | |
|--------------------|------------------|-------|--------|
| (1) 区民健康体力テスト測定会 | 大規模測定会 (奥戸・水元SC) | 年2回 | 各300人 |
| | 出前体力測定会 | 年5回程度 | 各50人 |
| (2) 高齢者推奨スポーツ | 大会 (3種目) | 年各1回 | |
| (3) ウォーキング・ランニング推進 | ウォーキング | 年1回 | 400人 |
| | シティロゲイニング | 年1回 | 200人 |
| (4) ランニングステーション事業 | ランニング | 5教室 | |
| | ウォーキング | 5教室 | |
| (5) スポーツ指導員養成講習会 | 共通科目 | 年1回 | 50人 |
| | 専門科目 | 年3回 | 各20人 |
| (6) スポーツボランティア講習会 | | 年2回 | 各60人程度 |

2 障害者スポーツの推進【計画】(教育費)

生涯スポーツ課 5百万円

障害者が自主的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員を養成するとともに、年間を通して指導員と協働して定期的に教室を開催します。

また、パラリンピック公式種目であるボッチャやスペシャルオリンピックス公式種

目であるフロアホッケーの普及推進を行い、ユニバーサルスポーツの継続した普及と発展を図ります。

- (1) 障害者水泳教室 年42回 各10人～20人
- (2) 障害者スポーツ教室 年24回 各20人～40人
- (3) 障害者スポーツ指導員養成・活用 講義8回・実技5回 25人
- (4) ボッチャ 施設開放 週1回
- (5) フロアホッケー 大規模大会・教室（施設開放 週1回）

3 区民健康スポーツ参加促進事業【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 36百万円

（一社）葛飾区体育協会と協働して、41の加盟団体スポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・子育て中の親子など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などの事業を実施します。これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。

子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、個人や家族、仲間同士でランナーとして参加できるだけでなく、スタッフや応援者などとして、様々な形でイベントを楽しむ機会を確保し、スポーツ実施率の向上や健康増進をはじめ、多世代の交流や地域の交流などにつながるスポーツイベントとしてかつしかふれあいRUNフェスタを開催します。また、今後区民により身近なイベントとして、地域事業者や地域団体との連携を深めるとともに、家族みんなで参加者を応援することや、ボランティアとして大会に参加するなど、ランナー以外の区民も参加できるイベントにするため、コースの一部を公道利用することについての準備を行います。

4 囲 トップアスリート支援事業【拡大】（教育費）

生涯スポーツ課 7百万円

葛飾区ゆかり（区内在住・在学・在勤もしくは出身、活動中など）のトップアスリートを「葛飾区トップアスリート」に認定して、活動費を支援するとともに、区民がアスリートを応援していくための環境を構築します。また、認定した葛飾区トップアスリートを区のスポーツイベントやスポーツ教室にゲストや講師として招聘して、区民とアスリートが交流する場を設けます。

4年度は、葛飾区トップアスリートの活動支援費を増額します。

2 スポーツ基盤整備

～区民誰もが安全・快適にスポーツに親しめる環境を整備します～



1 囲 スポーツ施設の利用しやすい環境整備【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 567百万円

スポーツ施設を安心して利用できるよう、老朽化に伴う改修などにより利便性・安全性を向上させるとともに、バリアフリーにも配慮した計画的なスポーツ施設の改修などに取り組んでいきます。

4年度は、奥戸総合スポーツセンターエイトホール・野球場改修工事及び少年野球場改修設計や小菅東スポーツ公園テニスコート改修工事のほか、金町公園プールの改修に着手します。

(1) 奥戸総合スポーツセンター改修

令和4年度 エイトホール・野球場改修工事、少年野球場改修設計

(2) 小菅東スポーツ公園テニスコート改修

令和4年度 改修工事

(3) 金町公園プール改修

令和4年度 改修設計等